

特集！！ハルちゃんが行く！！

～梶原町森林組合の木材の産地見学ツアー～

梶原町森林組合は、工務店の関係者の方々や住宅の施主さんに梶原町産のFSC認証材をじっくりと見て、知ってもらうための「産地見学ツアー」を開催しています。今回は10月中旬に1泊2日で開催しました。

「かがわ家博2017」（詳しくは『かがわ家博2017【H29.11.6】』の記事を参照）で産地見学ツアーの声掛けをしたことがきっかけで、香川県から3社に参加していただきました！

工務店や設計事務所、木材販売会社などで、こだわりの住宅づくりに関わっている参加者のみなさんに、森林組合・梶原町役場、県須崎林業事務所が連携して、梶原町産材をPRしました。



ハルちゃん

隈研吾氏の建築物や古い木造建築めぐり



梶原町役場庁舎内

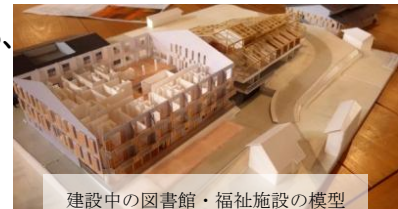


雲の上のギャラリー



梶原町役場庁舎内

2020年の東京オリンピック・パラリンピックで使用する、新国立競技場を設計した建築家の隈研吾氏は梶原町との関わりが深く、現在建築中の建物を含めると、町内に6つの建物を設計しています。今回は梶原町役場の庁舎、雲の上のギャラリー、雲の上のホテル、マルシェユスハラを見学しました。特に庁舎の構造材や、特徴的なスギの内装、木製のブラインド、雲の上のギャラリーの木の見せ方などが、参加者の興味を惹いたようです。また、現在建築中の図書館と福祉施設の建築模型を目の前にして、議論し合っていました。



建設中の図書館・福祉施設の模型

隈研吾氏の建築以外にも、ゆすはら座、掛橋和泉邸、御幸橋、三嶋神社、梶原橋など、町内の木造建築物を見学しました。



御幸橋

私たちは何度も訪れている建物ですが、建築に関わる方の感想を聞いて、新たな発見がありました。

梶原町森林組合でのFSC認証材の説明と製材工場見学

産地見学ツアーの参加者に対して、梶原町森林組合の職員から、梶原町産FSC認証材のPRや、邸別出荷に対応していること、施主さんが大黒柱の伐採に参加して思い入れのある家づくりに繋げていることなど、梶原町森林組合の独自の取り組みやこだわりを説明しました。

また、梶原町役場の職員は、町の自然を活かした環境に優しい取り組みなどを説明し、須崎林業事務所の職員は県の森林・林業の紹介と木材利用に関する補助事業の説明を行いました。このように森林組合・町・県の三者で丸となって地域材のPRを行っています。その後、ツアー参加者の方々は梶原町森林組合の製材工場の見学を行いました。

香川県には森林が少なく、香川県産材のみを利用した住宅建築は難しいそうです。四国で一つになって、地域材を供給するという考え方も必要という意見も出ました。梶原町産材の利用を前向きに検討していただくこととなりました。



民宿で梶原町の雰囲気堪能

産地見学ツアーでは、参加者の方には基本的に民宿に宿泊していただき、夜も梶原町の雰囲気を感じてもらおうそうです。

今回は囲炉裏のある民宿で、地元の食材を使った料理を味わい、そのおいしさに感動したそうです。都会からの参加者の皆さんにとって、田舎の民宿の雰囲気が新鮮で、民宿での時間も楽しんでいただけたようです。

